

# テストの人はAgileに共感できる？できない？

---



## Agile Japan 2016

「各プロフェッショナル団体は、アジャイルをどう考えているのか  
～アジャイルに共感できる！できない？～」セッション

NPO ASTER (NPO法人ソフトウェアテスト技術振興協会)

理事長 西 康晴

# ASTER: Association of Software Test EngineerRing

## • ソフトウェアテスト技術振興協会

- テストを軸にして、ソフトウェア品質向上に関する教育や調査研究、普及振興を行うNPO法人
  - » 2006年4月に設立／理事・会員は無給
- ソフトウェアテストシンポジウム(JaSST)を開催している
  - » 実行委員は手弁当／参加費は実費＋α
  - » 毎年4Qに東京で開催／例年のべ1500名前後の参加者
  - » 東北・四国・関西・北海道・九州・東海・新潟でも開催／会場はほぼ満席
- ソフトウェアテストの資格試験(JSTQB)を運営している
  - » Foundation Levelは21,548名の受験者・11,958名の合格者
  - » Advanced Level(テストマネージャ)を2010年8月に開始・361/1,486名の合格
  - » Advanced Level(テストアナリスト)を2016年2月に開始・43/351名の合格
- ソフトウェアテスト設計コンテストを開催している
  - » テスト設計の質の高さを競うコンテスト／今年は全国から15チームの参加
  - » 主要な成果物は無償で公開される／毎年テスト設計のレベルが向上している
- 各地でソフトウェアテストの教育を行っている
  - » テストのスキル標準(test.SSF)をIVIAと共同で開発している
  - » セミナーや勉強会などを支援することで、地場の産業振興の定着を図る
- テストの先端技術を研究開発している
  - » アジャイル・バグ分析・ゲームテスト・テストプロセス改善など



# テストの人はAgileに共感できる！できない？

## ● テストの人はAgileに共感できる説

- そもそもテストはその性質上AdaptiveでIterativeでCustomer-orientedな作業である
  - » そうは言っても軽作業派遣的なCheckingをする生体機械もたくさんいるけどね
    - ・ トレーサビリティ厨は「必要なドキュメントしか作成しない」アジャイルチームでちゃんと仕事ができるのか？
- テストの世界でも、アジャイルにあらずんば人にあらず、的雰囲気が海外では充満している
  - » ISTQBでAgile Extensionが発行されてたり、ISO/IEC/IEEE29119sでAgileTRが執筆されてる
  - » ASTERでもアジャイルにおけるテストや品質はどうあるべきかという研究会を始めた

## ● テストの人はAgileに違和感がある説

- TDDはテストじゃなくて開発にリズムや安心感や勇気を与える道具だと言い切る人々
  - » じゃあ別の名前で呼べばいいのに
- 自分のバグを自分で見つけられるほど開発者は精神的に成熟していると信じている人々
  - » PMがDよりもQを優先できないという未成熟問題があるから、Scrum masterはProduct Ownerを兼ねないんじゃないの？
- ソフトウェア工学は失敗しているとかアジる人々
  - » Agileはソフトウェア工学における正統的進化形だと捉えないと、Agileの先が創れない

## ● Agileとテストが肩を組んで「よい開発」をするには何が必要なんだろう

- なんでテストエンジニアは開発者が気づかなかつたバグを見つけれられるんだろう？
  - » それを開発者が見つけられるためにはどんな技術を移転すればいいのか？探索的テスト？
- イテレーションナビゲータ？
- テストエンジニアと一緒に仕事をする事で、開発者は賢くなれるんじゃないかな？
  - » ある妖精さんの話がヒントになるかも: <http://miwa719.hatenablog.com/entry/daily2016052801>



技術もパラダイムも超えて「よい開発」を考えましょう！



電気通信大学 西 康晴  
Yasuharu.Nishi@uec.ac.jp  
@YasuharuNishi